

## 日本外交にとっての重要性

### ■我が国の重視する様々な課題に関し国連が果たす役割の重要性

- ・日本自身の安全保障、持続可能な成長のためにも、安定した国際環境の創出が不可欠。そのために、国連は様々な分野で重要な役割。
- ・環境・気候変動、核軍縮・不拡散、紛争解決や平和構築、人権、テロ、貧困、感染症などが、外交における主要課題として顕在化。
- ・北朝鮮の問題など我が国の安全保障にとり重大な問題について、国連は重要な役割。

### ■国連の持つ正統性を最大限に活用

- ・人間の安全保障、防災、保健、アフリカへの支援等、日本の政策目標を実現する上で、普遍性（幅広い諸国の参加）、専門性（世界中の情報や知見の集約）に支えられた正統性（ソフトパワーの基盤）という国連の強みを、日本としても最大限に活用し、日本だけではできないことを実現。
- ・国際的ルールメイキングを主導する上でも、国連との連携が不可欠。

## 【参考：国連の沿革・概要】

■ 1945年10月発足（当初の加盟国数：51）。我が国は1956年12月18日に加盟（80番目の加盟国）。現在のメンバー数は193（直近は2011年7月の南スーダンの加盟）

## ■ 主要機関

総会，安全保障理事会，経済社会理事会，信託統治理事会，国際司法裁判所，事務局

## ■ 目的（国連憲章第1条）

- 国際の平和及び安全を維持すること
- 諸国間の友好関係を発展させること

## 国連への関与を強化する具体的取組

### ■制度面

- 21世紀にふさわしい効率的かつ効果的な国連の実現が喫緊の課題。
- 人権理事会、平和構築委員会の設立など、2005年国連首脳会合「成果文書」の諸改革を通じ、国連の機能を強化。
  - 人権理事会：設立当初にメンバー。現在は非理事国。
  - 平和構築委員会：日本は設立当初からのメンバー。
  - 安保理改革：「早期の改革」で一致。進展は限定的。

### ■資金面

- 予算の効率的活用と説明責任の確保 → 国連の行財政改革を進めつつ、財政上の義務（分担金）は誠実に履行。
- ODA予算や任意拠出金の確保・活用 → 外交政策実現のために重要。

### ■人材・ポスト面

- 国際機関選挙等を通じポストを獲得 → 日本外交にとって重要度の高い機関・ポストの特定及び獲得に向けた選挙戦略、人材育成の実施。  
例：天野 IAEA事務局長（2009年12月～）、関水IMO事務局長（2012年1月～）等。
- 国際機関日本人職員の増強 → 日本は過少代表。JPO派遣や、国際機関職員候補者の発掘・育成を含めた中長期的な戦略を展開。